

第40回ふれあい広場あいさつ

第40回ふれあい広場実行委員会

委員長 大高 久尚



第40回ふれあい広場に、様々な形でご参加いただきありがとうございます。

去年は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となりましたが、今年は、みなさんのメッセージを集めて、ひとつの木のモニュメントをつくるという新しい形で開催をさせていただきました。感染拡大の影響により実際に集まることは難しくなっておりますが、青空の下で季節を感じながら歌い、踊った楽しい思い出は、私たちの心の中に残っています。

実行委員会としましても、少しずつ前に進むことができるよう、ホップ・ステップ・ジャンプで進めていきたいと考えております。今回作成しました、木のモニュメントを通して一人ひとりの気持ちを共有し、ともに生きる力に変えて、この度の困難をみんなで乗り越えていきましょう。

さて、このふれあい広場は、1981年の「完全参加と平等」をテーマとした国際障害者年をきっかけにスタートし、長きに渡り、住みよい地域づくりを進めるため、ハンディのある人・ない人、子どももお年寄りも全ての人が一堂に会し、相互理解の促進と仲間意識の高揚を目指して開催して参りました。

現在では、「誰一人取り残さない」を理念とし、持続可能な社会の実現を目指す、SDGsのアクションが加速しておりますが、目標の達成にはパートナーシップが不可欠であるとされています。このふれあい広場を通じた交流の機会によって育まれる多様な価値観と共生の精神は、地域の持続可能性を高めるための推進力になると確信しております。

結びになりますが、日頃より本事業にご理解とご協力を賜っております関係者の皆様、ご参加頂いた皆様に御礼を申し上げるとともに、皆様との笑顔の再会を祈念いたしまして、挨拶に変えさせて頂きたいと思っております。